

# WaffleCell

## 取扱説明書 導入編

対応機種：高機能サービスゲートウェイ RS-100L

1:	はじめに.....	3
	※注意事項.....	3
2:	WaffleCellの設定と動作確認.....	4
	◎2-1 ホスト名を決める.....	5
	◎2-2 ホスト名設定.....	6
	○2-2-1 手順.....	6
	◎2-3 ルーター自動設定.....	10
	○2-3-1 管理Top画面へのログイン.....	10
	○2-3-2 ルーター自動設定.....	11
	○2-3-3 ルーターの自動設定で再起動を求められた場合.....	16
	○2-3-4 ルーターの自動設定がメニューに表示されない場合.....	17
	◎2-4 登録したホスト名でWaffleCellにアクセスする.....	18
3:	ユーザー追加・サービス追加.....	19
	◎3-1 管理Top画面ログインの手順.....	20
	◎3-2 ユーザー追加.....	22
	○3-2-1 ユーザー追加.....	22
	○3-2-2 ユーザー削除とユーザーパスワード（パスワードの変更）.....	23
	◎3-3 サービス追加（Nextcloud-Hub）.....	26
	○3-3-1 Nextcloudをサービス追加する.....	26
4:	本格運用を開始する前に.....	30
	◎4-1 LAN内とLAN外(※最も間違いやすいポイントです).....	30
	○4-1-1 同じLAN内かLAN外かわからない場合.....	31
	○4-1-2 VPN接続.....	31
	◎4-2 管理者パスワードの変更.....	32
	◎4-3 WaffleCellの状態を確認する（各種情報）.....	34

◎4-4 電源オフ（終了・再起動） .....	36
◎4-5 取扱説明書 応用編について .....	38

2021/11/8 2.11

文責 ワッフルコンピュータ株式会社

# 1: はじめに

高機能サービスゲートウェイ RS-100Lには、WaffleCell（ワッフルセル）が搭載されています。本取扱説明書の内容は、そのWaffleCellの設定方法、使い方等の説明になります。

本体の電源を入れると、WaffleCellは起動します。WaffleCellを再起動すれば、本体も再起動されます。またWaffleCellをシャットダウンすると、本体の電源もオフとなります。

## ※注意事項

**1：下記の操作を行った結果、RS-100Lに不具合が生じる場合があります。絶対に下記の操作は行わないでください。万一下記の操作による不具合が発生してもサポートの範囲外となります。**

**(1)RS-100Lに直接キーボード、ディスプレイを接続し操作した場合。**

**(2)仮想デスクトップのTerminal（端末）からroot権限で操作を行った場合**

**2：RS-100Lのハードディスクを複製して別の装置に入れても動作しません。また元の機械も使用できなくなります。この場合もサポートの範囲外となります。**

**3：RS-100Lをブリッジモードで利用する場合は、導入編の前に「ブリッジモードで利用時の注意点」（<https://docs2.waffleinfo.com/manual-bridge.pdf>）をご覧ください。**

**4：故障等で装置を交換した場合、WaffleCellのホスト名は引き継がれますが、追加したアプリの情報やその他の設定は引き継がれません。日頃からデータのバックアップを頻繁に取る事、そして可能であればRAID（※）を導入する事をお勧めします。**

（※RAIDについては次のURLをご覧ください。 <https://docs2.waffleinfo.com/manual-raid.pdf>）

● WaffleCellにアクセスする際のサポートOSとブラウザは以下の通りです。

Microsoft Windows7、8.1、10、11

Apple macOS10.12～10.14 iOS12.X、13.X

Google Android5～9

ブラウザ Firefox（52）、Google Chrome（77）、Safari（12）、Microsoft Edge（44）  
Internet Explorer（11）

※ブラウザ名の後の括弧内の数字はバージョンで、表記されているバージョン以上がサポート対象。

※Internet Explorerはブラウザ版仮想デスクトップには対応していません、他のブラウザをご利用下さい。

※iOSとAndroid OSはブラウザ版仮想デスクトップには対応していません、VNC対応のアプリを使用して仮想デスクトップへのアクセスが可能です。

VNCについては次のURLをご覧ください。 [https://docs2.waffleinfo.com/manual-vnc\\_viewer.pdf](https://docs2.waffleinfo.com/manual-vnc_viewer.pdf)

## 2: WaffleCellの設定と動作確認

最初にWaffleCellの初期設定を行います。

### ★ここで行う作業の流れ

- 1: ホスト名を決める
- 2: ホスト名設定画面を開き、ホスト名を設定する
- 3: ルーター自動設定を行なう
- 4: 設定したホスト名が正しいかどうかをチェックする

## ◎ 2-1 ホスト名を決める

---

ホスト名はWaffleCellにブラウザでアクセスする際のURLに使われます。他のWaffleCellユーザーも含め既に使用済みのホスト名と重複するものはエラーになって利用できませんので、その際はホスト名を再考して下さい。

ホスト名を設定すると、ブラウザのURL欄に、

https://<ホスト名>.wafflecell.com/   （例：https://example.wafflecell.com/）

と入れれば、WaffleCellの画面にアクセス出来るようになります。

ホスト名は以下のルールで、お客様が任意の文字列を決めることが出来ます。

- ・ **まだ第三者に取得されていない**
- ・ **半角英数字と - (ハイフン)のみで、6~20文字。(※ハイフンは先頭・末尾には使えません)**

ホスト名を決めるときには、以下の点を考慮して下さい。

- ・ **簡単な文字列だと既に取得されている場合もあるので、あらかじめ2-3の案を考えておく。**
- ・ **一度設定すると変更ができないので、決める際と入力する際にはその点を十分注意する。**

ホスト名の候補を決めたら次の「ホスト名設定」に進んで下さい。

## ◎ 2-2 ホスト名設定

RS-100Lの電源を入れ、10分経ったら、WaffleCellの「ホスト名」を設定します。

### ○ 2-2-1 手順

ホスト名設定の際に、製品に同梱されている4桁×8（32文字）のプロダクトIDを入力する必要があります。ご準備下さい。



この4×8（32桁）の英数字がプロダクトID

ホスト名の設定は、RS-100LのLANポートに直接ケーブルで接続、又は無線LANで接続しているWindows又はMACのPCのブラウザから行います。

PCのブラウザを起動し、アドレスバーに次のように入力して下さい。

`http://wafflecell2.local:8000/`

※ブラウザによっては「http://」の入力を省略しても自動的に補完されますが、念の為、必ず「http://」を省略せずに入力して下さい（下記の二つのURLで接続する場合も同様です）。

もし、上記URLでアクセスできない場合は

`http://wafflecell2:8000/`

にアクセスして下さい。

上記の二つでもアクセスできない場合は

`http://192.168.110.252:8000/`

にアクセスして下さい。ただしこの方法はお客様がネットワークアドレスを変更していない場合にしか使えません。

※「サイトにアクセスできない、サイトが見つからない、ページを表示できない」等のエラーが出た場合は、以下の点を確認して下さい。

**1：入力したスペルが正しいか**

**2：PCがRS-100Lに繋がっているかを確認（可能であればRS-100Lに直接LANケーブルで接続する）**

ログイン画面が表示されますので、WaffleCell管理者名とWaffleCell管理者パスワードを入力してLoginボタンをクリックします。WaffleCell管理者名は adminw となります。パスワードは事前にメモを取っていただいているものです(\*)（製品底面に貼られているシールに記載）。

\*もしも、パスワードのメモを取っていない場合は製品の電源ボタンを押して下さい。電源ランプが消えたのを確認してから機器底面のシールをご確認下さい。確認が終わった後に、再び電源ボタンを押して、本手順をやり直して下さい。

アプリ 管理者ログイン

## 管理者ログイン

以下にWaffle Cell 管理者名とWaffle Cell管理者パスワードを入力しログインしてください。

adminw|

.....

Login

管理者名 adminw を入れる

パスワード（製品貼付のシールを確認）

最後にLoginをクリック

※ブラウザによっては入力時に「この接続は安全ではありません。ここに入力したログイン情報は漏洩する可能性があります。」等の警告が出る場合があります。ここでの接続は安全ですので、そのままログインして下さい。

ログインが完了すると、ホスト名設定の画面になります。利用規約を読み、画面の指示に従ってホスト名を設定します。

管理Top アプリ ホスト名設定

## ホスト名設定 [?]

利用規約を読み、ホスト名を登録します。ホスト名の登録にはWaffleCellのプロダクトIDが必要です。プロダクトIDは商品に添付されている32桁（4桁x8セット）の英数字です。この作業を完了することで利用規約に同意したことになります。

**なお、ホスト名登録後のWaffleCellアップデートはWaffle Computer社が管理するサーバーを経由することになります。**

作業を中止して電源を落とす

---

利用規約(必ずお読みください)  
「WaffleCell」利用に伴う「使用許諾契約」

WaffleCellをご利用もなる前に、この「使用許諾契約書」の諸規約、およびこの「WaffleCell」に関する利用条件を、細心の注意を払った上できちんとすべてお読みください。

ワッフルコンピュータ株式会社のWaffleCell利用に伴う使用許諾契約（以下「WaffleCell利用規約」）は、法人・個人問わず利用者であるあなた（以下「利用者」）と、ワッフルコンピュータ株式会社との間で結ばれる。法的に有効な同意であるとし、これに関連したソフトウェアコンポーネント、メディア、印刷物、その他電磁的書類（以下「ソフトウェア製品」）のすべてをワッフルコンピュータのソフトウェア製品とみなし、その規約の適用対象とします。

---

ホスト名の登録をします。この作業は1回だけ設定ができ、一度設定をすると変更はできません。

次図のように、画面下部の入力欄にホスト名とプロダクトIDを入力します。ホスト名を入力するとリアルタイムで利用可能かどうかが入力欄の上に表示されます。プロダクトIDはハイフン（-）で区切られて表記されていますが、ハイフンは入力不要です。

ご利用いただけます ← 入力したホスト名が使えるかどうかが表示される

example ←

※ **ホスト名は一度登録すると変更できません**  
 以下にWaffle CellプロダクトID（4桁 x 8セット）を入力してください。このIDは製品に添付されています。  
 アルファベットは小文字でもかまいません。

1	2	3	4
5	6	7	8

-- 選択してください --

確定する（ホスト名は一度決めると変更できません）

ここにプロダクトIDを入力

ホスト名とプロダクトIDの入力が完了したら、画面下部の「-- 選択してください --」をクリックして「利用規約に同意し登録（登録後ホスト名は変更不可）」を選びます。

-- 選択してください --

-- 選択してください --

登録しない

利用規約に同意し登録（登録後ホスト名は変更不可）

最後に「確定する（ホスト名は一度決めると変更できません）」ボタンをクリックして下さい。

※ **ホスト名は一度登録すると変更できません**  
 以下にWaffle CellプロダクトID（4桁 x 8セット）を入力してください。このIDは製品に添付されています。  
 アルファベットは小文字でもかまいません。

ABCD	1234	EFGH	5678
IJKL	9012	MNOP	3456

利用規約に同意し登録（登録後ホスト名は変更不可）

確定する（ホスト名は一度決めると変更できません）

設定が正常に完了すると、次のような画面になります。（exampleの部分には実際には自分で登録したホスト名が表示されます）

## example

### Waffle Cellの認証とホスト名設定が完了しました

取扱説明書をご覧の上、必要に応じてユーザー  
追加やサービス(機能)の追加を行ってください

エラーが出る場合は、メッセージに応じて次のように対処して下さい。

エラーメッセージ	対 処
インターネットに接続されていません。	RS-100Lがネットにつながっていません。接続を確認して下さい。
プロダクトIDが無効です。	入力されたプロダクトIDが間違っています。もう一度入力しなおして下さい。
プロダクトIDは利用済みです。	入力されたプロダクトIDが間違っています。もう一度入力しなおして下さい。
SSL証明書の取得に失敗しました。	一度ブラウザを閉じて、10分程度待って再び設定して下さい。

## ◎ 2-3 ルーター自動設定

WaffleCellの利用を開始する前に、ルーターの自動設定を行なって下さい。  
なお、RS-100Lをブリッジモードで利用している場合は、この設定は不要です。

※ルーター自動設定を行なうと、以下の二つの機能を自動設定します。

- ・ IPv4静的DNS

WaffleCellのトップページに同じLAN内からもLAN外からも同じURLでアクセス可能にします。

- ・ ポートマッピング

外部からアクセスするためのポートの開閉を自動で行います。

設定はWaffleCellの管理Top画面から行います。

### ○2-3-1 管理Top画面へのログイン

まずは管理Top画面にログインします。ブラウザにアプリ画面が表示されていない場合は、ブラウザのアドレスバーに

`https://l.<ホスト名>.wafflecell.com/` 例 : `https://l.example.wafflecell.com/`

と入力しアプリ画面を表示します。※必ずホスト名の前にl.(エル ドット)をつけて下さい。

アプリ画面が表示されたら画面左上の「管理Topへ」をクリックします。



管理者ログイン画面でWaffleCell管理者名、WaffleCell管理者パスワードを入れてLoginをクリックします。(WaffleCell管理者名は adminw、WaffleCell管理者パスワードは製品に貼付されていますので、ご確認下さい)



管理トップ画面にログインできたら、以下の手順に従って設定を行なって下さい。

## ○2-3-2 ルーター自動設定

ルーターの自動設定は以下の手順で行います。

1. 「管理Top画面」から、画面上部の「高度な設定」をクリック。



2. 高度な設定の中から、「ルーター自動設定」をクリック。



※ルーターの自動設定がメニューに表示されない場合は、上図の「サービス追加削除(一般)」をクリックして下さい。表示された画面の「その他」にある「ルーター自動設定」をクリックして「ルーター自動設定のインストール」画面からインストールを行なって下さい。

3. 次の画面が出たら、ルーターのユーザー名・パスワードを入力。

※ルーターのユーザー名は admin で、パスワードは「高機能サービスゲートウェイ RS-100L 取扱説明書」の「6.初期設定」の項目で設定したパスワードになります。WaffleCellの管理者名・パスワードとは違います。

管理Top アプリ ルーター自動設定

### ルーター自動設定 [?]

ここでルーターログインのユーザー名/パスワードを保存すると、ルーターの自動設定(ポートマッピングなどの外部からの接続を許可する機能)をおこないます。IPv4静的DNSの設定も自動でおこなわれ、この機能により内部からの接続でURLからI.を省略できます。

ルーターのユーザー名(RS-100L)  
ルーターのユーザー名(RS-100L)

ルーターのパスワード(RS-100L)  
ルーターのパスワード(RS-100L)

上記内容を保存する

保存後、次頁で必ず「設定を行う」を実行してください

※稀に上図の画面ではなく、下図のようにWaffleCellを再起動するように求められる場合があります。この場合は、後述の「○2-3-3 ルーターの自動設定で再起動を求められた場合」の説明に沿って作業を行い、完了後に「◎2-3 ルーター自動設定」の最初に戻って作業を行なって下さい。

管理Top アプリ ルーター自動設定

### ルーター自動設定 [?]

まだ本機能のインストールが終了していません。

インストールを完了するにはWaffleCellを再起動する必要があります。ここから再起動し、10分ほど待ってから再度本機能の設定をしてください。再起動中はWaffleCellにはアクセスができなくなります。

2013-2019 (c) Waffle Computer All Rights Reserved / local IP=192.168.110.252, Global IP=36.2.146.220

4. ルーターのユーザー名・パスワードを入力したら「上記内容を保存する」をクリック。

管理Top アプリ ルーター自動設定

### ルーター自動設定 [?]

ここでルーターログインのユーザー名/パスワードを保存すると、ルーターの自動設定(ポートマッピングなどの外部からの接続を許可する機能)をおこないます。IPv4静的DNSの設定も自動でおこなわれ、この機能により内部からの接続でURLからI.を省略できます。

ルーターのユーザー名(RS-100L)  
admin

ルーターのパスワード(RS-100L)  
●●●●●●●●

上記内容を保存する

保存後、次頁で必ず「設定を行う」を実行してください

5. ルーターのユーザー名・パスワードが保存されると下記画面が表示される。  
確認のため、「設定を行なう（約1～2分かかります）」をクリック。

The screenshot shows a web interface for 'Router Automatic Setting'. At the top, there are navigation links: '管理Top', 'アプリ', and 'ルーター自動設定'. The main heading is 'ルーター自動設定 [?]'. Below this, a message states: 'ルーターのユーザー名とパスワードが保存されました。ルーターの自動設定をおこなう為に、以下のリンクをクリックしてください。' (The router's username and password have been saved. To perform the router's automatic setting, please click the following link.) A note follows: '※自動設定をおこなうと、ルーターのポートマッピング設定のエントリ番号21～50とIPv4静的DNS設定のエントリ番号50が上書きされますので、上書きされる範囲内にWaffle Cell取扱説明書（IPv4静的DNS設定等 編）以外の設定を追加している場合は、設定しなおしてください。' (When performing automatic setting, the entry numbers 21-50 for port mapping and entry number 50 for IPv4 static DNS settings will be overwritten. If you have added settings other than the Waffle Cell manual (IPv4 static DNS settings, etc. edition) within the overwritten range, please reset them.) A blue button labeled '設定を行う(約1～2分かかります)' (Perform setting (approx. 1-2 minutes)) is highlighted with a black arrow. Below the button, there is a form with two input fields: 'ルーターのユーザー名(RS-100L)' and 'ルーターのパスワード(RS-100L)'. A '上記内容を保存する' (Save the above content) button is at the bottom of the form. A footer note says: '保存後、次頁で必ず「設定を行う」を実行してください' (After saving, please definitely perform 'Perform setting' on the next page).

注意：自動設定をおこなうと、ルーターのポートマッピング設定のエントリ番号21～50とIPv4静的DNS設定のエントリ番号50が上書きされますので、上書きされる範囲内にWaffleCell取扱説明書（IPv4静的DNS設定等 編）以外の設定を追加している場合は、設定しなおしてください。

6. 設定中は Processing... と表示される。

This screenshot is identical to the one above, showing the 'Router Automatic Setting' page. The '設定を行う(約1～2分かかります)' button is now highlighted in blue, and the text 'Processing...' is displayed below it, indicating that the setting process is in progress.

7. 「保存されたユーザー名、パスワードでルーターの設定がされました」と出れば、設定は成功。



管理Top アプリ ルーター自動設定

### ルーター自動設定 [?]

既にユーザー名とパスワードが保存されています。ルーターの自動設定をおこなう為に、以下のリンクをクリックしてください。

※自動設定をおこなうと、ルーターのポートマッピング設定のエントリ番号21~50とIPv4静的DNS設定のエントリ番号50が上書きされますので、上書きされる範囲内にWaffle Cell取扱説明書（IPv4静的DNS設定等 編）以外の設定を追加している場合は、設定しなおしてください。

**設定を行う(約 1~2分かかります)**

```
config -m dev -u /wf/conf/aterm.xml -f /tmp/aterm.status
12.5%
25%
37.5%
50%
62.5%
75%
87.5%
100%
```

保存されたユーザー名、パスワードでルーターの設定がされました。

成功した場合はここで作業は完了ですが、失敗した場合は次図のように

- ・ユーザー名またはパスワードが正しくありません。下記の「ルーターのユーザー名」「ルーターのパスワード」欄に再度入力の上「上記内容を保存する」をクリックして下さい。
- ・ルーターがブリッジモードに設定されている場合、ルーターモードに変更可能かご確認ください。と表示されます。このメッセージが出る場合は、入力したルーターのユーザー名やパスワードが間違っている場合です。ルーターのユーザー名とパスワードを確認し、再度ルーターのユーザー名とパスワードを入力し、「上記内容を保存する」をクリックして下さい。



管理Top アプリ ルーター自動設定

### ルーター自動設定 [?]

既にユーザー名とパスワードが保存されています。ルーターの自動設定をおこなう為に、以下のリンクをクリックしてください。

※自動設定をおこなうと、ルーターのポートマッピング設定のエントリ番号21~50とIPv4静的DNS設定のエントリ番号50が上書きされますので、上書きされる範囲内にWaffle Cell取扱説明書（IPv4静的DNS設定等 編）以外の設定を追加している場合は、設定しなおしてください。

**設定を行う(約 1~2分かかります)**

```
config -m dev -u /wf/conf/aterm.xml -f /tmp/aterm.status
```

・ユーザー名またはパスワードが正しくありません。下記の「ルーターのユーザー名」「ルーターのパスワード」欄に再度入力の上「上記内容を保存する」をクリックしてください。

・ルーターがブリッジモードに設定されている場合、ルーターモードに変更可能かご確認ください。

ここでルーターログインのユーザー名/パスワードを保存すると、ルーターの自動設定(ポートマッピングなどの外部からの接続を許可する機能)をおこないます。IPv4静的DNSの設定も自動でおこなわれ、この機能により内部からの接続でURLからI.を省略できます。

ルーターのユーザー名(RS-100L)  
ルーターのユーザー名(RS-100L)

ルーターのパスワード(RS-100L)  
ルーターのパスワード(RS-100L)

保存後、次頁で必ず「設定を行う」を実行してください

再び、5の画面に戻りますので、そこから再び設定を行なって下さい。

**注意：ルーターの自動設定を実施後に、ルーターのパスワードを変えた場合**

ルーターの自動設定で行なっている作業は、ルーターへのログインパスワードをWaffleCellに覚えさせる作業です。従って、ルーターのパスワードを変更した場合は、「○2-3-2 ルーター自動設定」の作業をもう一度行い、新しいパスワードを覚えさせて下さい。

ルーターの自動設定は次の二つの機能を自動的に設定します。

**1：IPv4静的DNS**

WaffleCellのトップページに同じLAN内からアクセスする場合に通常では、

**https://l.<ホスト名>.wafflecell.com/ 例：https://l.example.wafflecell.com/**

と、ホスト名の前にl.（エル ドット）が必要ですが、ルーターの自動設定が完了すればl.（エル ドット）なしの、

**https://<ホスト名>.wafflecell.com/ 例：https://example.wafflecell.com/**

でアクセス可能になります。

これにより同じWaffleCellにLAN内からとLAN外からではアクセスするURLが違うという問題を解決してくれます。次の表の様に、ルーターの自動設定を行えば、LAN内、LAN外両方から同じURLでアクセスすることが可能になります。

ルーターの自動設定の有無と、LAN内・LAN外からのアクセスURLについて表にまとめましたので、ご参照下さい。

	同じLAN内から	LAN外から
ルーターの自動設定 未設定	https://l.<ホスト名>.wafflecell.com/ 例：https://l.example.wafflecell.com/	https://<ホスト名>.wafflecell.com/ 例：https://example.wafflecell.com/
ルーターの自動設定 設定完了	https://<ホスト名>.wafflecell.com/ 例：https://example.wafflecell.com/	https://<ホスト名>.wafflecell.com/ 例：https://example.wafflecell.com/

**注意：IPv4静的DNSの自動設定が行われるタイミング**

IPv4静的DNSの自動設定が行われるタイミングは、「2-3-2 ルーター自動設定」の手順5で「設定を行なう（約1～2分かかります）」の作業を行った時になります。手順7で「ユーザー名、パスワードが認証されました」と表示された段階で設定は完了しています。もし手動でIPv4静的DNSを削除したような場合は、手順5の作業を行なって下さい。

**2:ポートマッピング**

WaffleCellに追加されるサービスで外部からアクセスして利用するタイプのものはポートマッピングが必要な場合があります。ルーターの自動設定を行なっておけば、ポートマッピングも必要に応じて自動的に行われます。

例えば新しいサービスを追加した時に必要であれば自動でポートを開け、サービスを削除した時には利用していたポートを自動で閉じます。

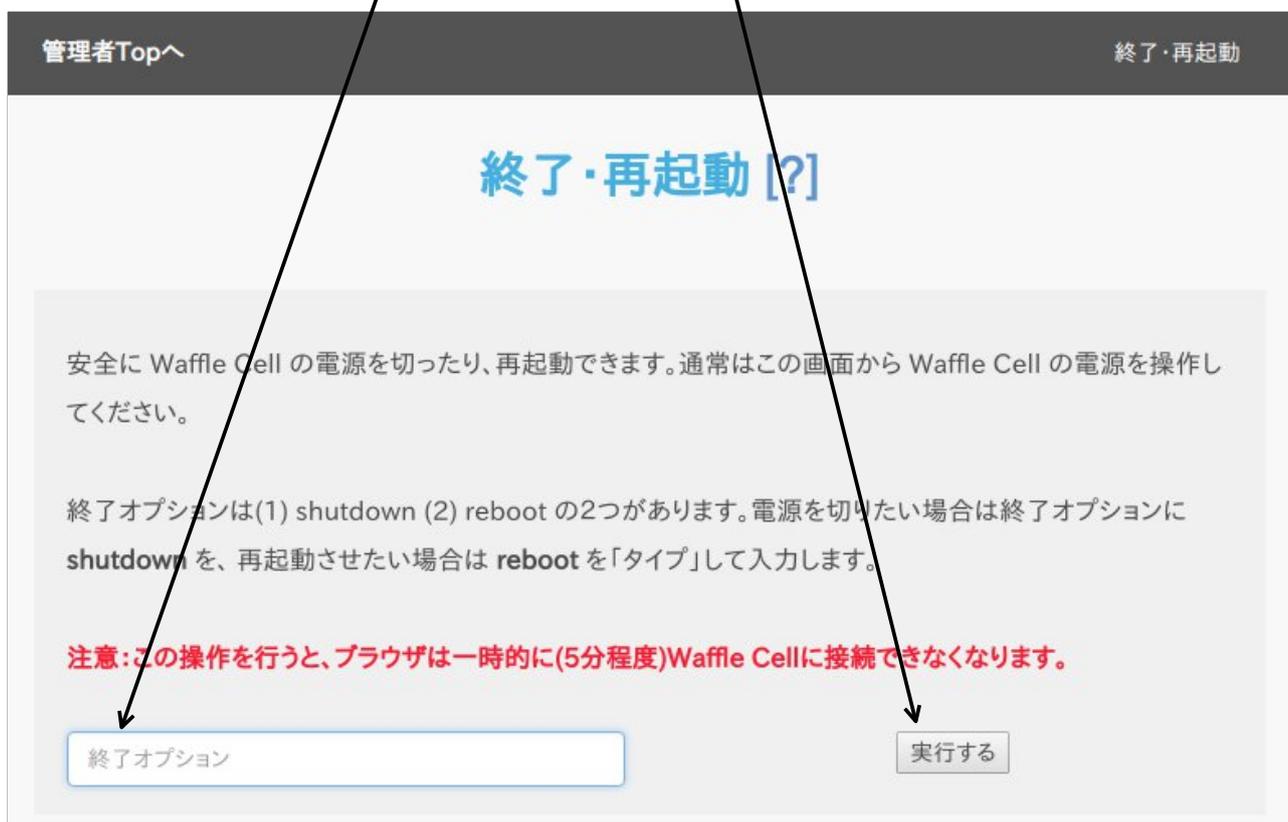
### ○2-3-3 ルーターの自動設定で再起動を求められた場合

ルーターの自動設定中に、次のような画面が出た場合は、説明に従って、WaffleCellのリブートを行います。

画面内のリンクをクリックして、終了・再起動の画面を表示します。



終了・再起動の画面で、「reboot」を入力し、「実行する」ボタンをクリック。



これでWaffleCellが再起動します。タイミングによっては直後に画面に「WaffleCellからの応答があり

ません」などのメッセージが表示されますが、WaffleCellの電源が一旦切れるのでこのようなメッセージが表示されます。エラーではありません。

数分待ち、WaffleCellが起動したら、再び「◎2-3 ルーター自動設定」の最初の説明に戻って、ルーターの自動設定の作業を行なって下さい。

#### **○2-3-4 ルーターの自動設定がメニューに表示されない場合**

---

ルーターの自動設定がメニューに表示されない場合は、管理Top画面の「高度な設定」の「サービス追加削除(一般)」をクリック、表示された画面の「その他」にある「ルーター自動設定」をクリックして「ルーター自動設定のインストール」画面からインストールを行なって下さい。

## ◎ 2-4 登録したホスト名でWaffleCellにアクセスする

ホスト名登録が完了すると、登録したホスト名を使ってWaffleCellにアクセスできるようになります。それでは試してみましょう。

まず**ブラウザが開いていたら、一度終了**して下さい。

再度、ブラウザを起動して、次のアドレスにアクセスして下さい。

https://<ホスト名>.wafflecell.com/

例)ホスト名が「example」なら、https://example.wafflecell.com/

アクセスできない場合は、スペルをもう一度確認します。スペルが間違っていない場合は、次のようにホスト名の前に l. (エル ドット) をつけてアクセス可能かどうかをチェックします。

https://l.<ホスト名>.wafflecell.com/

例)ホスト名が「example」なら、https://l.example.wafflecell.com/

これでアクセスできる場合は、ブリッジモードで運用している場合を除き、ルーターの自動設定が行われていない（あるいは正常に行われていない）可能性がありますので、前項の「◎2-3 ルーター自動設定」を参照して、作業を行なって下さい。

正常にアクセスが行われると、次のような画面になります。（exampleの部分には実際には自分で登録したホスト名が表示されます）



なお、左上に「アプリ」と表示されているこの画面を「アプリ画面」と呼びます。

WaffleCellの利用や設定などはこの画面から行うこととなりますので、ブックマークをつけておくと便利です。

## 3:ユーザー追加・サービス追加

ホスト名の登録が終わった段階では、WaffleCellの機能は何も使うことが出来ません。機能を利用するためには、ユーザーの追加やサービスの追加を行う必要があります。

### ★ここで行う作業の流れ

- 1:管理Top画面にログイン
- 2:WaffleCellユーザーの追加を行う
- 3:サービス (Nextcloud-Hub) を追加する

「ユーザーの追加」を行うとファイルサーバー = NAS機能が使えるようになります。それ以外にもユーザーが追加されていることが必須の機能がありますので、まずはユーザー追加を行なっておいて下さい。

「Nextcloud-Hub」のサービスを追加すると、オンラインストレージが利用出来るようになります。

## ◎ 3-1 管理Top画面ログインの手順

ユーザー追加もサービス追加も、すべて管理Top画面から行います。他にも様々な設定などを管理Top画面から行いますので、この操作はおぼえておいて下さい。

### 管理Top画面へのログインの手順

1. ブラウザにアプリ画面が表示されていない場合は、ブラウザのアドレスバーに  
https://<ホスト名>.wafflecell.com/ 例 : https://example.wafflecell.com/

と入力しアプリ画面を表示する。

2. アプリ画面が表示されたら画面左上の「管理Topへ」をクリック



3. 管理者ログイン画面でWaffleCell管理者名、WaffleCell管理者パスワードを入れてLoginをクリック。

※WaffleCell管理者名は adminw 、WaffleCell管理者パスワードは製品に貼付されていますので、ご確認下さい。



正常にログインされると、次のように「管理Top画面」が表示されます。



この左上に「管理Top」の表示がある画面を「管理Top画面」と呼びます。

## ◎3-2 ユーザー追加

まずはWaffleCellユーザー名を登録（ユーザー追加）をしましょう。登録すると、ファイルサーバー機能（NASの機能）を利用することが可能になります。

### ○3-2-1 ユーザー追加

ユーザー追加するWaffleCellユーザーの名前及びパスワードを決めます。決める際には次の点を考慮して下さい。

- ・ WaffleCellユーザー名は半角英数字4~16文字で設定します。（先頭は英字）  
例：tanaka yoshida taro jiro など
- ・ 登録したユーザー名の変更は出来ません。ユーザー名を削除し、変更したいユーザー名で登録する必要があります。
- ・ WaffleCellパスワードは半角英数字8~16文字で設定（大文字小文字が区別される）します。
- ・ パスワードは必ずメモしておいて下さい。
- ・ WaffleCellパスワードは後から変更可能です。

#### 追加の手順

1. 管理Top画面で「ユーザー追加」をクリック。



2. 次のように「ユーザー追加」の画面が表示されるので、設定するWaffleCellユーザー名とパスワードを入力し、最後に「上記ユーザーを追加」をクリック。

ユーザー名 半角英数字4~16文字で、先頭は英字

パスワード 半角英数字8~16文字で、先頭は英字

※ユーザー名もパスワードも大文字・小文字を区別します。ただしWindowsPCをお使いの場合はユーザー名は小文字と数字だけを使用して下さい。

管理Top      アプリ      ユーザー追加

## ユーザー追加 [?]

新規にWaffle Cell ユーザーを追加します。

Waffle Cell ユーザーを追加すると (1) NAS(ファイルサーバー) (2) VPN (3) データベース(\*)が使えるようになります。また、仮想デスクトップやメールなども同じWaffle Cellユーザー名、パスワードで利用可能です。

\*データベースを利用するWindows版MemoTDB(無料)が利用できます。

その他のサービス・機能については個別に設定が必要になる場合があります。詳しくはそれぞれの解説をご覧ください。

ユーザー名 半角英数字4-16文字(先頭は英字)

ユーザー名 半角英数字4-16文字(先頭は英字)

パスワード 半角英数字8-16文字 大小文字を区別

パスワード 半角英数字8-16文字 大小文字を区別

パスワードを再度確認入力

パスワードを再度確認入力

上記ユーザーを追加

**ユーザー名を入力**

**パスワードを入力(同じものを確認のため2ヶ所に)**

**最後に 上記ユーザーを追加 をクリック**

### ○3-2-2 ユーザー削除とユーザーパスワード(パスワードの変更)

ユーザー削除、ユーザーパスワード(パスワードの変更)も管理Top画面から行えます。

ユーザー削除はここをクリック      ユーザーパスワードはここをクリック

管理Top      アプリへ      Waffle Cell ユーザー設定      高度な設定      セキュリティ      最新情報

## Waffle Cell ユーザー設定

NAS,仮想デスクトップ,VPN用 ログアウト



ユーザー追加



ユーザー削除



ユーザーパスワード



共有フォルダ

これらの機能はすぐには必要ないと思いますが、ユーザー追加とセットで説明しておきます。

## ユーザー削除の手順

1. 管理Top画面で「ユーザー削除」をクリック
2. ユーザーの一覧が表示される。一覧から削除したいWaffleCellユーザー名にチェックを入れる。（図例では「jiro」がチェックされています）

管理Top      アプリ      ユーザー削除

### ユーザー削除 [?]

既存Waffle Cellユーザーを削除します。

Waffle Cell ユーザーを削除するとユーザーに関連するデータ(NASの共有データを除く)もすべて削除され、復活はできません。この操作は慎重に行ってください。削除するユーザーにチェックを入れ、確認ボタンをクリックしてください。

jiro

taro

tanaka04

-- 以下より選択してください --      削除を実行

3. 画面下部の「-- 以下より選択して下さい --」をクリックし、「チェックしたユーザーを完全削除」を選択し、「削除を実行」ボタンをクリック。

-- 以下より選択してください --      削除を実行

-- 以下より選択してください --

削除しない

チェックをしたユーザーを完全削除

注意：ユーザー削除を行うと、ファイルサーバー機能（NAS機能）で、ユーザー専用のファイル領域保存されているデータも消去されます。

**ユーザー削除する前にバックアップを取って下さい。**（ファイルサーバー機能は、取扱説明書の応用編（本説明書の末尾参照）に説明があります）。

## ユーザーパスワード（パスワードの変更）手順

1. 管理Top画面で「ユーザーパスワード」をクリックし、ユーザーパスワード画面を表示。

管理Top アプリ ユーザーパスワード

### ユーザーパスワード [?]

既存Waffle Cell ユーザーのパスワードを変更します。

ファイルサーバー、VPN、メール、仮想デスクトップのログインに必要なパスワードの変更です。その他のサービスについてはパスワードは変更されません。nextCloudなどのパスワード変更は各サービスの管理者が個別に行ってください。

[Waffle Cell 管理者パスワードを変更する場合はこちらから](#)

パスワードを変更したいユーザーを選択  
-- ユーザーを選択 --

パスワード 半角英数字8-16文字 大小文字を区別  
パスワード 半角英数字8-16文字 大小文字を区別

パスワードを再度確認入力  
パスワードを再度確認入力

パスワードを変更

2. 画面で「-- ユーザーを選択 --」をクリックし、パスワードを変更したいユーザーを選択。

パスワードを変更したいユーザーを選択

-- ユーザーを選択 --

-- ユーザーを選択 --

jiro

taro

tanaka04

3. 変更後のパスワードを、パスワード入力欄に入力（同じ物を2ヶ所に）

パスワード 半角英数字8-16文字 大小文字を区別  
パスワード 半角英数字8-16文字 大小文字を区別

パスワードを再度確認入力  
パスワードを再度確認入力

4. 「パスワード変更」ボタンをクリック。

## ◎3-3 サービス追加 (Nextcloud-Hub)

WaffleCellは利用したいサービスを追加して利用することが出来ます。

ここではサービス追加の練習としてNextcloud-Hub(以降Nextcloud)のサービスを追加します。Nextcloudは簡単に言うとDropboxのようなサービスです。ファイルの同期やアップロード、ダウンロードが出来ます。

なお、追加したサービスを後で削除する事も可能です。

### ○3-3-1 Nextcloudをサービス追加する

Nextcloudをサービス追加してみましょう。

サービス追加はユーザー追加の時と同様に、「管理Top」画面から行います。画面左上に「管理Top」と表示されていればそのまま、「アプリ」と表示されていれば、その右の「管理Topへ」をクリックして管理Top画面にログインして下さい。



※管理Top画面へのログイン方法は、ユーザー追加の時と同じですので詳しくはユーザー追加の説明の前、「◎3-1 管理Top画面ログインの手順」をご覧ください。

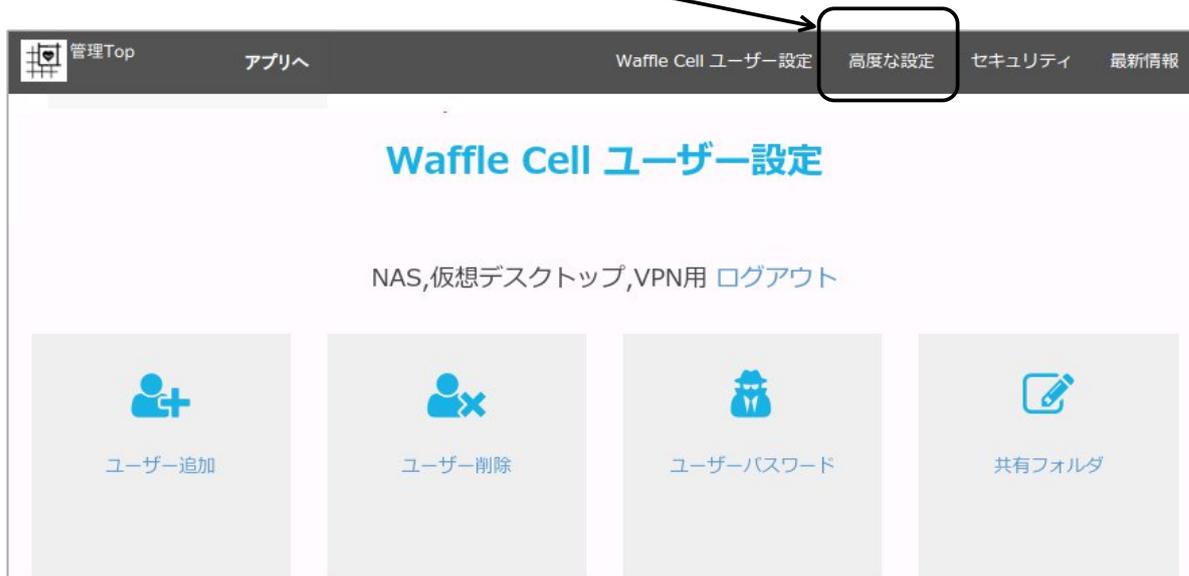
次のように、管理Top画面になっていれば準備完了です。後は以下の手順でサービスを追加します。

なお、管理Top画面の上部の「WaffleCell ユーザー設定」「高度な設定」「セキュリティ」「最新情報」はこの管理Top画面内のページ内リンクになっています。



## サービス追加の手順

1. 画面上部のページ内リンク「高度な設定」をクリック。



2. 「サービス追加削除（一般）」をクリックします。



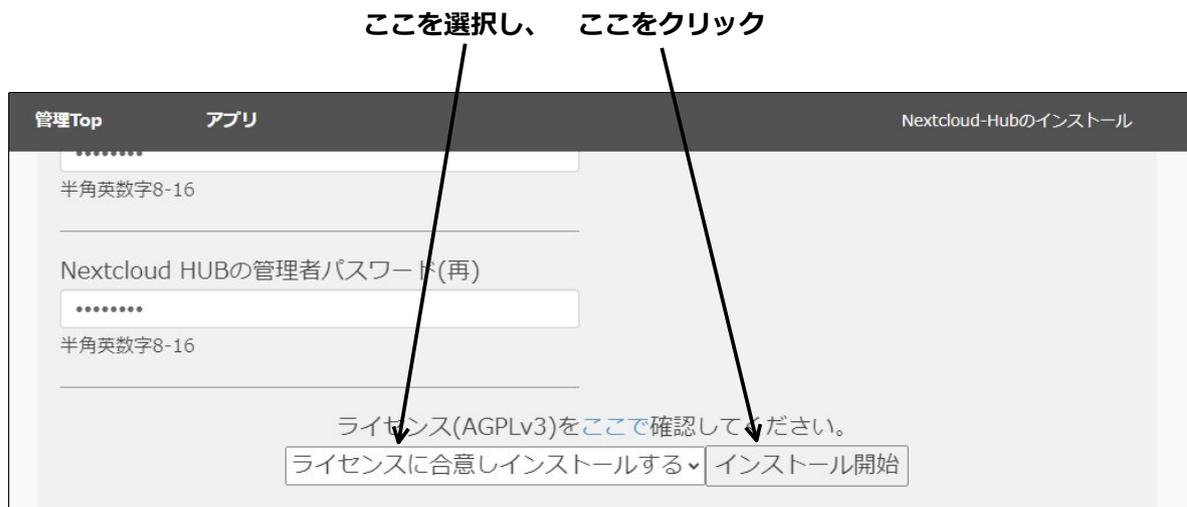
3. 追加可能なサービス一覧が表示されるので、そこから「Nextcloud-Hub」をクリック。



※出荷時期等によっては、古いバージョンである「Nextcloud+Talk」が表示されている場合があります。こちらはインストールせずに「Nextcloud-Hub」をインストールして下さい。

4. インストール画面が表示されるので、Nextcloud の管理者IDとパスワードを入力。(任意の文字列をNextcloud管理者ID・パスワードに設定する事が出来ます。WaffleCell管理者名やWaffleCellユーザー名等と混同しないよう、メモしておく事をお勧めします)

5. 最後に画面下部の「-- 選択してください --」をクリックし、「ライセンスに合意しインストールする」を選び「インストール開始」ボタンをクリック。



後はインストールが終わるのを待つだけです。どうですか、簡単でしょう。他のサービスも基本的には画面の指示に従うだけで追加可能です。

## 4: 本格運用を開始する前に

ここまでで、WaffleCellへのユーザー追加、サービス追加等を行いました。これでファイルサーバー機能とNextcloudが使えるようになったのですが、具体的な使い方を応用編のマニュアル（巻末参照）で確認する事になります。その前に、以下の点を頭に入れておくと使いやすくなるかと思しますので、是非お読み下さい。

### ◎ 4-1 LAN内とLAN外(※最も間違いやすいポイントです)

最も間違いやすいポイントですが、分ってしまえば簡単です。ゆっくりお読みください。今使っているPCやタブレットがRS-100Lに接続されている場合（LAN内）と、外にある場合（LAN外）では挙動が違ってきます。

**LANの内側**：RS-100LにLANケーブルや無線LANで繋がっているPCやスマホ等の機器（以下PC等）は「同じLAN内（LANの内側）」となります。

**LANの外側**：RS-100Lと異なるルーターに接続されているPC等は「LANの外側にある」となります。喫茶店の無線LANから自宅のWaffleCellに接続している場合、そのPCは「LANの外側」となります。

※接続が複雑等で同じLAN内かLAN外かが不明な場合は、次項の「◎4-1-1 同じLAN内かLAN外かわからない場合」で確かめて下さい。

ちょうど、電話の内線と外線のような感じですね。同じ家の中からは内線（LAN内）、外からは外線（LAN外）となるようなイメージです。

同じ家の中でも例えばスマホの回線でテザリングを利用して接続しているPCは「LANの外側」となりますので、その点ご注意下さい。

PCから <https://<ホスト名>.wafflecell.com/> にアクセスした場合、LAN内からとLAN外からでは次のような違いがあります。

対象	LAN内	LAN外
アプリ画面の「管理Top」へのリンク	表示される	表示されない
「管理Top」へのログイン	可能	不可能（※1）
アプリ画面に表示される項目	全てが表示	一部非表示（※2）

※1 ログイン用のURLを直接指定してもログイン画面は表示されない。

※2 LAN内でのみ利用できるサービスは表示されない。

LAN外からは設定やインストール、使えるアプリ等、機能が制限されるという事になります。

## ○4-1-1 同じLAN内かLAN外かわからない場合

今PCがWaffleCellと同じLAN内にあるかLAN外にあるかを確認する方法は簡単です。

`https://l.<ホスト名>.wafflecell.com/`

のように、ホスト名の前にl.（エル・ドット）をつけてアクセスして下さい。

（例：ホスト名がtanaka の場合 `https://l.tanaka.wafflecell.com/`）

これで接続出来る場合は同じLAN内です。

l.はLocal=LANの内側の意味です。

`https://l.<ホスト名>.wafflecell.com/` では接続できず、

`https://<ホスト名>.wafflecell.com/` では接続出来る場合

そのPCは「LANの外側にある」となります。

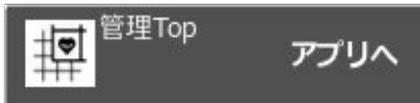
また、画面の左上を見ていただく事で区別する事が出来ます。

左が、同じLAN内から見たトップ画面（アプリ画面）、右(※)が外から見たトップの画面（アプリ画面）の表記になります。「管理Topへ」のリンクが表示されているものが同じLAN内からのものになると覚えておくといいでしょう。



※「ホスト名」には実際には自分のWaffleCellのホスト名が入ります。またブラウザの画面を狭めると、「WaffleCell "ホスト名"」の表記は消える場合があります。

ちなみに、管理Top画面にいる場合は画面左上は次のように表示されます。



## ○4-1-2 VPN接続

LAN外にあるPC等であっても、VPN接続を行なっている場合は同じLAN内から接続している場合と同様の操作が可能です。詳しくは応用編マニュアル（巻末参照）の「VPN設定」をご覧ください。

## ◎ 4-2 管理者パスワードの変更

WaffleCell管理者パスワードを変更する場合は「**万一変更したパスワードを忘れた場合、WaffleCellにログインできなくなり、全て初期化する以外に手立てがなくなる**」という点にご注意下さい。従って、**かならずパスワードは記録しておきましょう。**

WaffleCell管理者パスワードの初期値は6文字ですが、変更時に設定できるパスワードは半角英数字8-16文字となります。大文字と小文字は区別しますので注意して下さい。

### 変更手順

1. 管理Topへログイン（「◎3-1 管理Top画面ログインの手順」を参照）
2. 画面上部のページ内リンクの「セキュリティ」をクリック



3. 「管理者パスワード」をクリック



4. 管理者パスワード変更画面が開いたら、下記のように変更後のパスワードを入力、チェックボックスをチェックし、最後に「パスワード変更（パスワードを忘れると管理ができなくなります）」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Administrator Password Change' page. At the top, there are navigation links for '管理Top', 'アプリ', and '管理者パスワード変更'. The main heading is '管理者パスワード変更 [?]'. Below the heading, there is a warning message: '管理者パスワードを変更します。変更後のパスワードを忘れるとWaffle Cellを初期化しない限り管理ができなくなります。十分に注意してこの機能を利用してください。' and a link 'Waffle Cell ユーザーパスワード変更はこちらから'. The form contains two password input fields: '新管理者パスワード 半角英数字8-16文字' and '新管理者パスワードを再度確認入力'. Below these are two checkboxes: '[確認チェック] 設定するパスワードを忘れると各種設定ができなくなります' and '[確認チェック] 上記を理解しました'. At the bottom is a button labeled 'パスワード変更 (パスワードを忘れると管理ができなくなります)'. Annotations with arrows point to the first password field (labeled '変更後のパスワードを入れる (2ヶ所に同じものを入れる)'), the second checkbox (labeled '両方チェックする'), the second checkbox (labeled '最後にここをクリック'), and the button.

5. 変更が成功すると、次のような画面になります。「ここからログインできるかを確認して下さい。」をクリックすると、管理Topへのログイン画面になりますので、ログインできるかどうかをお試し下さい。

The screenshot shows the 'Administrator Password Change' page after successful completion. The main heading is '管理者パスワード変更 [?]'. Below the heading, there is a message: 'パスワードを変更しました。ここからログインができるかを確認してください。' with a link 'ここからログインできるかを確認してください'.

## ◎ 4-3 WaffleCellの状態を確認する（各種情報）

WaffleCellの動作状況の確認は、「各種情報」画面で行う事が可能です。

「各種情報」はアプリ画面から開く事が出来ます。WaffleCellと同じLAN内にあるPCまたはVPN接続しているPCのブラウザから次のアドレスにアクセスして、アプリ画面を開いて下さい。

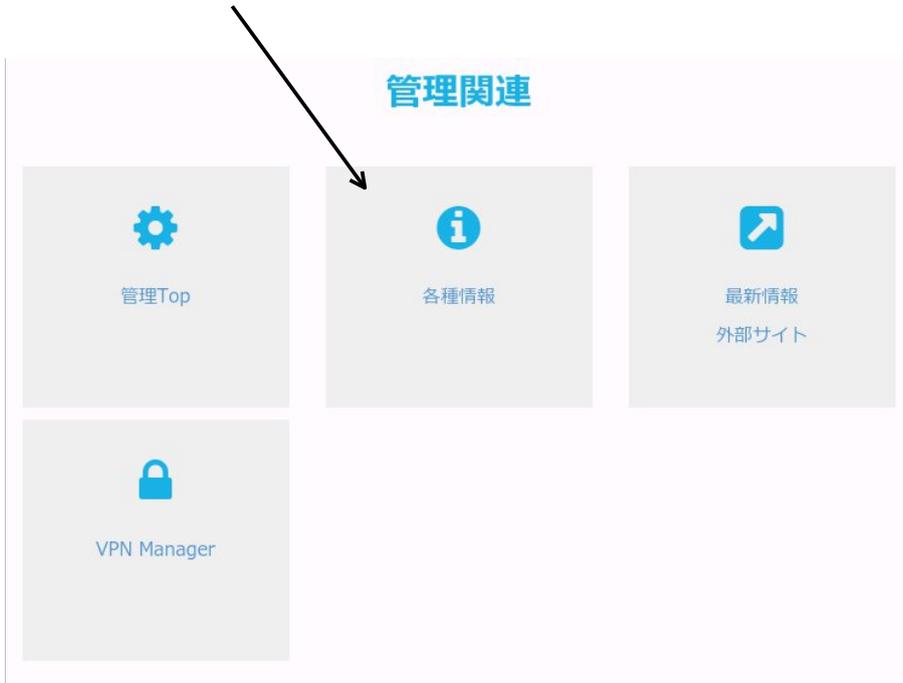
https://<ホスト名>.wafflecell.com/

例)ホスト名が「example」なら、https://example.wafflecell.com/

アプリ画面が開いたら、画面上部の「管理関連」をクリックします。



管理関連の「各種情報」をクリックします。



これで各種情報画面が開きます。この画面の情報はサポート等で必要になる場合があります。

## 各種情報 [?]

各種情報 (example.wafflecell.com)

Waffle Cell バージョン	2.11.07(July 3, 2019)
ベンダーID	TEGLET
インターネット接続テスト	On line
最新版	最新版です
Linuxカーネル	4.9.0-8-amd64
ベースOS	Debian GNU/Linux 9 ::9.8(debian)
主要プロセス動作確認	DB=OK , Apache2=OK ssh=OK , xl2tpd=NG ipsec=NG , smbd=OK
二重ルーター	正常

## ◎ 4-4 電源オフ（終了・再起動）

WaffleCellは起動したらつけっぱなしが基本ですが、移動するなどの理由で、終了・再起動する場合は以下の手順で行なって下さい。

### 終了・再起動の手順

1. 管理Topへログイン（「◎3-1 管理Top画面ログインの手順」を参照）している状態で、画面上部のページ内リンク「高度な設定」をクリック。



2. 「終了・再起動」をクリックします。



3. WaffleCellの電源を切る場合は「shutdown」、再起動は「reboot」を入力し、「実行する」ボタンをクリック

ここに shutdown または reboot と入力し、「実行する」ボタンをクリック

管理者Topへ 終了・再起動

## 終了・再起動 [?]

安全に Waffle Cell の電源を切ったり、再起動できます。通常はこの画面から Waffle Cell の電源を操作してください。

終了オプションは(1) shutdown (2) reboot の2つがあります。電源を切りたい場合は終了オプションに **shutdown** を、再起動させたい場合は **reboot** を「タイプ」して入力します。

**注意:この操作を行うと、ブラウザは一時的に(5分程度)Waffle Cellに接続できなくなります。**

終了オプション  実行する

これでWaffleCellが終了・再起動します。タイミングによっては直後に画面に「WaffleCellからの応答がありません」などのメッセージが表示されますが、WaffleCellの電源が一旦切れるのでこのようなメッセージが表示されます。エラーではありません。

### 終了・再起動の注意

WaffleCellを再起動(reboot)させるとRS-100L本体も再起動します。

WaffleCellを終了(shutdown)させるとRS-100L本体も電源オフとなります。その場合、RS-100Lに接続しているPC等もネットに接続できなくなります。RS-100Lの電源を入れれば、WaffleCellも起動します。

## ◎4-5 取扱説明書 応用編について

ファイルサーバーやNextcloud、VPN、仮想デスクトップ等の使い方については、取扱説明書 応用編をご覧ください。応用編はWaffleCellのアプリ画面で、「取扱説明書」の項目をクリックして下さい。（アプリ画面の表示の仕方は本説明書の「◎2-4 登録したホスト名でWaffleCellにアクセスする」をご覧ください。）



※本説明書に記載されている会社名、商品、サービス名は各社の商標または登録商標です。